

Q0001

データベース

タグ：関係モデル

用語：関係モデルの確認ポイント1：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

次の説明に最も合う用語はどれか。表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

- A. 主キー
- B. 関係モデル
- C. 正規化
- D. インデックス

答え・解説

Q0001 正答：B. 関係モデル

解説：関係モデルは、表を用いてデータと関係を表現するデータモデル。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

データベース

タグ：関係モデル

用語：関係モデルの確認ポイント2：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

関係モデルの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 表の各行を一意に識別する属性又は属性の組
- B. 更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法
- C. 表を用いてデータと関係を表現するデータモデル
- D. 検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

答え・解説

Q0002 正答：C. 表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

解説：関係モデルの要点は「表を用いてデータと関係を表現するデータモデル」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

データベース

タグ：関係モデル

用語：関係モデルの確認ポイント3：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「関係モデル」である。

- A. 主キー：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル
- B. 正規化：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル
- C. インデックス：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル
- D. 関係モデル：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

答え・解説

Q0003 正答：D. 関係モデル：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

解説：正しい組合せは「関係モデル：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0004

データベース

タグ：関係モデル

用語：関係モデルの確認ポイント4：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

「関係モデル」は、表を用いてデータと関係を表現するデータモデル。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。関係モデルは表を用いてデータと関係を表現するデータモデル。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

データベース

タグ：関係モデル

用語：関係モデルの確認ポイント5：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

組織が「表を用いてデータと関係を表現するデータモデル」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 主キー
- B. 関係モデル
- C. 正規化
- D. インデックス

答え・解説

Q0005 正答：B. 関係モデル

解説：この目的に対応するのは関係モデルである。表を用いてデータと関係を表現するデータモデルという機能・考え方を持つためである。

Q0006

データベース

タグ：関係モデル

用語：関係モデルの確認ポイント6：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

「関係モデル」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造
- B. 更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法
- C. 表を用いてデータと関係を表現するデータモデル
- D. 表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

答え・解説

Q0006 正答：C. 表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

解説：関係モデルは表を用いてデータと関係を表現するデータモデル。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

データベース

タグ：関係モデル

用語：関係モデルの確認ポイント7：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

「関係モデル」は、表の各行を一意に識別する属性又は属性の組。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述は主キーの説明である。関係モデルは表を用いてデータと関係を表現するデータモデル。

Q0008

データベース

タグ：関係モデル

用語：関係モデルの確認ポイント8：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

次の状況で中心となる論点はどれか。「表を用いてデータと関係を表現するデータモデル」ことが求められている。

A. 関係モデル

B. 正規化

C. インデックス

D. 主キー

答え・解説

Q0008 正答：A. 関係モデル

解説：中心となる論点は関係モデルである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

データベース

タグ：関係モデル

用語：関係モデルの確認ポイント9：表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

「表を用いてデータと関係を表現するデータモデル」という特徴を持つものを選び。

- A. インデックス
- B. 関係モデル
- C. 正規化
- D. 主キー

答え・解説

Q0009 正答：B. 関係モデル

解説：関係モデルが該当する。定義は表を用いてデータと関係を表現するデータモデルであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0010

データベース

タグ：主キー

用語：主キーの確認ポイント1：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

次の説明に最も合う用語はどれか。表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

- A. 外部キー
- B. トランザクション
- C. 主キー
- D. 内部結合

答え・解説

Q0010 正答：C. 主キー

解説：主キーは、表の各行を一意に識別する属性又は属性の組。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0011

データベース

タグ：主キー

用語：主キーの確認ポイント2：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

主キーの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- B. データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位
- C. 両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合
- D. 表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

答え・解説

Q0011 正答：D. 表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

解説：主キーの要点は「表の各行を一意に識別する属性又は属性の組」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0012

データベース

タグ：主キー

用語：主キーの確認ポイント3：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「主キー」である。

- A. 主キー：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組
- B. 外部キー：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組
- C. トランザクション：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組
- D. 内部結合：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

答え・解説

Q0012 正答：A. 主キー：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

解説：正しい組合せは「主キー：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0013

データベース

タグ：主キー

用語：主キーの確認ポイント4：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

「主キー」は、表の各行を一意に識別する属性又は属性の組。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0013 正答：○

解説：正しい。主キーは表の各行を一意に識別する属性又は属性の組。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0014

データベース

タグ：主キー

用語：主キーの確認ポイント5：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

組織が「表の各行を一意に識別する属性又は属性の組」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. 外部キー

B. トランザクション

C. 主キー

D. 内部結合

答え・解説

Q0014 正答：C. 主キー

解説：この目的に対応するのは主キーである。表の各行を一意に識別する属性又は属性の組という機能・考え方を持つためである。

Q0015

データベース

タグ：主キー

用語：主キーの確認ポイント6：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

「主キー」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合
- B. データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位
- C. 別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- D. 表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

答え・解説

Q0015 正答：D. 表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

解説：主キーは表の各行を一意に識別する属性又は属性の組。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0016

データベース

タグ：主キー

用語：主キーの確認ポイント7：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

「主キー」は、別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0016 正答：×

解説：誤り。記述は外部キーの説明である。主キーは表の各行を一意に識別する属性又は属性の組。

Q0017

データベース

タグ：主キー

用語：主キーの確認ポイント8：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

次の状況で中心となる論点はどれか。「表の各行を一意に識別する属性又は属性の組」ことが求められている。

- A. トランザクション
- B. 主キー
- C. 内部結合
- D. 外部キー

答え・解説

Q0017 正答：B. 主キー

解説：中心となる論点は主キーである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0018

データベース

タグ：主キー

用語：主キーの確認ポイント9：表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

「表の各行を一意に識別する属性又は属性の組」という特徴を持つものを選べ。

- A. 内部結合
- B. トランザクション
- C. 主キー
- D. 外部キー

答え・解説

Q0018 正答：C. 主キー

解説：主キーが該当する。定義は表の各行を一意に識別する属性又は属性の組であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0019

データベース

タグ：外部キー

用語：外部キーの確認ポイント1：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

次の説明に最も合う用語はどれか。別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

- A. 正規化
- B. 原子性
- C. ロールバック
- D. 外部キー

答え・解説

Q0019 正答：D. 外部キー

解説：外部キーは、別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0020

データベース

タグ：外部キー

用語：外部キーの確認ポイント2：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

外部キーの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- B. 更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法
- C. トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質
- D. トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

答え・解説

Q0020 正答：A. 別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

解説：外部キーの要点は「別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0021

データベース

タグ：外部キー

用語：外部キーの確認ポイント3：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「外部キー」である。

- A. 正規化：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- B. 外部キー：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- C. 原子性：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- D. ロールバック：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

答え・解説

Q0021 正答：B. 外部キー：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

解説：正しい組合せは「外部キー：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0022

データベース

タグ：外部キー

用語：外部キーの確認ポイント4：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

「外部キー」は、別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0022 正答：○

解説：正しい。外部キーは別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0023

データベース

タグ：外部キー

用語：外部キーの確認ポイント5：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

組織が「別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 正規化
- B. 原子性
- C. ロールバック
- D. 外部キー

答え・解説

Q0023 正答：D. 外部キー

解説：この目的に対応するのは外部キーである。別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性という機能・考え方を持つためである。

Q0024

データベース

タグ：外部キー

用語：外部キーの確認ポイント6：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

「外部キー」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- B. トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理
- C. トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質
- D. 更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

答え・解説

Q0024 正答：A. 別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

解説：外部キーは別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0025

データベース

タグ：外部キー

用語：外部キーの確認ポイント7：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

「外部キー」は、更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0025 正答：×

解説：誤り。記述は正規化の説明である。外部キーは別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性。

Q0026

データベース

タグ：外部キー

用語：外部キーの確認ポイント8：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

次の状況で中心となる論点はどれか。「別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性」ことが求められている。

A. 原子性

B. ロールバック

C. 外部キー

D. 正規化

答え・解説

Q0026 正答：C. 外部キー

解説：中心となる論点は外部キーである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0027

データベース

タグ：外部キー

用語：外部キーの確認ポイント9：別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性

「別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性」という特徴を持つものを選び。

- A. ロールバック
- B. 原子性
- C. 正規化
- D. 外部キー

答え・解説

Q0027 正答：D. 外部キー

解説：外部キーが該当する。定義は別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0028

データベース

タグ：正規化

用語：正規化の確認ポイント1：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

次の説明に最も合う用語はどれか。更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

- A. 正規化
- B. トランザクション
- C. 排他制御
- D. 関係モデル

答え・解説

Q0028 正答：A. 正規化

解説：正規化は、更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0029

データベース

タグ：正規化

用語：正規化の確認ポイント2：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

正規化の説明として最も適切なものはどれか。

- A. データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位
- B. 更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法
- C. 同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- D. 表を用いてデータと関係を表現するデータモデル

答え・解説

Q0029 正答：B. 更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

解説：正規化の要点は「更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0030

データベース

タグ：正規化

用語：正規化の確認ポイント3：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「正規化」である。

- A. トランザクション：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法
- B. 排他制御：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法
- C. 正規化：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法
- D. 関係モデル：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

答え・解説

Q0030 正答：C. 正規化：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

解説：正しい組合せは「正規化：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0031

データベース

タグ：正規化

用語：正規化の確認ポイント4：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

「正規化」は、更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0031 正答：○

解説：正しい。正規化は更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0032

データベース

タグ：正規化

用語：正規化の確認ポイント5：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

組織が「更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. 正規化

B. トランザクション

C. 排他制御

D. 関係モデル

答え・解説

Q0032 正答：A. 正規化

解説：この目的に対応するのは正規化である。更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法という機能・考え方を持つためである。

Q0033

データベース

タグ：正規化

用語：正規化の確認ポイント6：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

「正規化」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 表を用いてデータと関係を表現するデータモデル
- B. 更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法
- C. 同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- D. データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

答え・解説

Q0033 正答：B. 更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

解説：正規化は更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0034

データベース

タグ：正規化

用語：正規化の確認ポイント7：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

「正規化」は、データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：×

解説：誤り。記述はトランザクションの説明である。正規化は更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法。

Q0035

データベース

タグ：正規化

用語：正規化の確認ポイント8：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

次の状況で中心となる論点はどれか。「更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法」ことが求められている。

- A. 排他制御
- B. 関係モデル
- C. トランザクション
- D. 正規化

答え・解説

Q0035 正答：D. 正規化

解説：中心となる論点は正規化である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0036

データベース

タグ：正規化

用語：正規化の確認ポイント9：更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

「更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法」という特徴を持つものを選べ。

- A. 正規化
- B. 関係モデル
- C. 排他制御
- D. トランザクション

答え・解説

Q0036 正答：A. 正規化

解説：正規化が該当する。定義は更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0037

データベース

タグ：トランザクション

用語：トランザクションの確認ポイント1：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

次の説明に最も合う用語はどれか。データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

- A. 原子性
- B. トランザクション
- C. インデックス
- D. 主キー

答え・解説

Q0037 正答：B. トランザクション

解説：トランザクションは、データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0038

データベース

タグ：トランザクション

用語：トランザクションの確認ポイント2：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

トランザクションの説明として最も適切なものはどれか。

- A. トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質
- B. 検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造
- C. データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位
- D. 表の各行を一意に識別する属性又は属性の組

答え・解説

Q0038 正答：C. データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

解説：トランザクションの要点は「データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0039

データベース

タグ：トランザクション

用語：トランザクションの確認ポイント3：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「トランザクション」である。

- A. 原子性：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位
- B. インデックス：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位
- C. 主キー：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位
- D. トランザクション：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

答え・解説

Q0039 正答：D. トランザクション：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

解説：正しい組合せは「トランザクション：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0040

データベース

タグ：トランザクション

用語：トランザクションの確認ポイント4：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

「トランザクション」は、データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0040 正答：○

解説：正しい。トランザクションはデータベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0041

データベース

タグ：トランザクション

用語：トランザクションの確認ポイント5：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

組織が「データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 原子性
- B. トランザクション
- C. インデックス
- D. 主キー

答え・解説

Q0041 正答：B. トランザクション

解説：この目的に対応するのはトランザクションである。データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位という機能・考え方を持つためである。

Q0042

データベース

タグ：トランザクション

用語：トランザクションの確認ポイント6：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

「トランザクション」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 表の各行を一意に識別する属性又は属性の組
- B. 検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造
- C. データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位
- D. トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

答え・解説

Q0042 正答：C. データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

解説：トランザクションはデータベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0043

データベース

タグ：トランザクション

用語：トランザクションの確認ポイント7：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

「トランザクション」は、トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0043 正答：×

解説：誤り。記述は原子性の説明である。トランザクションはデータベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位。

Q0044

データベース

タグ：トランザクション

用語：トランザクションの確認ポイント8：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

次の状況で中心となる論点はどれか。「データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位」ことが求められている。

A. トランザクション

B. インデックス

C. 主キー

D. 原子性

答え・解説

Q0044 正答：A. トランザクション

解説：中心となる論点はトランザクションである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0045

データベース

タグ：トランザクション

用語：トランザクションの確認ポイント9：データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

「データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位」という特徴を持つもの
を選べ。

- A. 主キー
- B. トランザクション
- C. インデックス
- D. 原子性

答え・解説

Q0045 正答：B. トランザクション

解説：トランザクションが該当する。定義はデータベース処理上ひとまとまりとして
扱う操作単位であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0046

データベース

タグ：原子性

用語：原子性の確認ポイント1：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

次の説明に最も合う用語はどれか。トランザクションが全て実行されるか全く実
行されない性質

- A. 排他制御
- B. 内部結合
- C. 原子性
- D. 外部キー

答え・解説

Q0046 正答：C. 原子性

解説：原子性は、トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質。ほか
の選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0047

データベース

タグ：原子性

用語：原子性の確認ポイント2：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

原子性の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- B. 両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合
- C. 別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- D. トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

答え・解説

Q0047 正答：D. トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

解説：原子性の要点は「トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0048

データベース

タグ：原子性

用語：原子性の確認ポイント3：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「原子性」である。

- A. 原子性：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質
- B. 排他制御：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質
- C. 内部結合：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質
- D. 外部キー：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

答え・解説

Q0048 正答：A. 原子性：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

解説：正しい組合せは「原子性：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0049

データベース

タグ：原子性

用語：原子性の確認ポイント4：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

「原子性」は、トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0049 正答：○

解説：正しい。原子性はトランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0050

データベース

タグ：原子性

用語：原子性の確認ポイント5：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

組織が「トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. 排他制御

B. 内部結合

C. 原子性

D. 外部キー

答え・解説

Q0050 正答：C. 原子性

解説：この目的に対応するのは原子性である。トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質という機能・考え方を持つためである。

Q0051

データベース

タグ：原子性

用語：原子性の確認ポイント6：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

「原子性」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- B. 両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合
- C. 同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- D. トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

答え・解説

Q0051 正答：D. トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

解説：原子性はトランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0052

データベース

タグ：原子性

用語：原子性の確認ポイント7：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

「原子性」は、同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0052 正答：×

解説：誤り。記述は排他制御の説明である。原子性はトランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質。

Q0053

データベース

タグ：原子性

用語：原子性の確認ポイント8：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

次の状況で中心となる論点はどれか。「トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質」ことが求められている。

- A. 内部結合
- B. 原子性
- C. 外部キー
- D. 排他制御

答え・解説

Q0053 正答：B. 原子性

解説：中心となる論点は原子性である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0054

データベース

タグ：原子性

用語：原子性の確認ポイント9：トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

「トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質」という特徴を持つものを選べ。

- A. 外部キー
- B. 内部結合
- C. 原子性
- D. 排他制御

答え・解説

Q0054 正答：C. 原子性

解説：原子性が該当する。定義はトランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0055

データベース

タグ：排他制御

用語：排他制御の確認ポイント1：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

次の説明に最も合う用語はどれか。同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

- A. インデックス
- B. ロールバック
- C. 正規化
- D. 排他制御

答え・解説

Q0055 正答：D. 排他制御

解説：排他制御は、同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0056

データベース

タグ：排他制御

用語：排他制御の確認ポイント2：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

排他制御の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- B. 検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造
- C. トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理
- D. 更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法

答え・解説

Q0056 正答：A. 同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

解説：排他制御の要点は「同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0057

データベース

タグ：排他制御

用語：排他制御の確認ポイント3：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「排他制御」である。

- A. インデックス：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- B. 排他制御：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- C. ロールバック：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- D. 正規化：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

答え・解説

Q0057 正答：B. 排他制御：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

解説：正しい組合せは「排他制御：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0058

データベース

タグ：排他制御

用語：排他制御の確認ポイント4：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

「排他制御」は、同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0058 正答：○

解説：正しい。排他制御は同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0059

データベース

タグ：排他制御

用語：排他制御の確認ポイント5：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

組織が「同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. インデックス
- B. ロールバック
- C. 正規化
- D. 排他制御

答え・解説

Q0059 正答：D. 排他制御

解説：この目的に対応するのは排他制御である。同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組みという機能・考え方を持つためである。

Q0060

データベース

タグ：排他制御

用語：排他制御の確認ポイント6：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

「排他制御」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- B. 更新時の矛盾や重複を減らすよう表を分解する設計手法
- C. トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理
- D. 検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

答え・解説

Q0060 正答：A. 同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

解説：排他制御は同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0061

データベース

タグ：排他制御

用語：排他制御の確認ポイント7：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

「排他制御」は、検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0061 正答：×

解説：誤り。記述はインデックスの説明である。排他制御は同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み。

Q0062

データベース

タグ：排他制御

用語：排他制御の確認ポイント8：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

次の状況で中心となる論点はどれか。「同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み」ことが求められている。

A. ロールバック

B. 正規化

C. 排他制御

D. インデックス

答え・解説

Q0062 正答：C. 排他制御

解説：中心となる論点は排他制御である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0063

データベース

タグ：排他制御

用語：排他制御の確認ポイント9：同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み

「同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み」という特徴を持つものを選べ。

- A. 正規化
- B. ロールバック
- C. インデックス
- D. 排他制御

答え・解説

Q0063 正答：D. 排他制御

解説：排他制御が該当する。定義は同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組みであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0064

データベース

タグ：インデックス

用語：インデックスの確認ポイント1：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

次の説明に最も合う用語はどれか。検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

- A. インデックス
- B. 内部結合
- C. 関係モデル
- D. トランザクション

答え・解説

Q0064 正答：A. インデックス

解説：インデックスは、検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0065

データベース

タグ：インデックス

用語：インデックスの確認ポイント2：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

インデックスの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合
- B. 検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造
- C. 表を用いてデータと関係を表現するデータモデル
- D. データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位

答え・解説

Q0065 正答：B. 検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

解説：インデックスの要点は「検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0066

データベース

タグ：インデックス

用語：インデックスの確認ポイント3：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「インデックス」である。

- A. 内部結合：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造
- B. 関係モデル：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造
- C. インデックス：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造
- D. トランザクション：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

答え・解説

Q0066 正答：C. インデックス：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

解説：正しい組合せは「インデックス：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0067

データベース

タグ：インデックス

用語：インデックスの確認ポイント4：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

「インデックス」は、検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0067 正答：○

解説：正しい。インデックスは検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0068

データベース

タグ：インデックス

用語：インデックスの確認ポイント5：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

組織が「検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. インデックス

B. 内部結合

C. 関係モデル

D. トランザクション

答え・解説

Q0068 正答：A. インデックス

解説：この目的に対応するのはインデックスである。検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造という機能・考え方を持つためである。

Q0069

データベース

タグ：インデックス

用語：インデックスの確認ポイント6：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

「インデックス」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. データベース処理上ひとまとまりとして扱う操作単位
- B. 検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造
- C. 表を用いてデータと関係を表現するデータモデル
- D. 両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

答え・解説

Q0069 正答：B. 検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

解説：インデックスは検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0070

データベース

タグ：インデックス

用語：インデックスの確認ポイント7：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

「インデックス」は、両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：誤り。記述は内部結合の説明である。インデックスは検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造。

Q0071

データベース

タグ：インデックス

用語：インデックスの確認ポイント8：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

次の状況で中心となる論点はどれか。「検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造」ことが求められている。

- A. 関係モデル
- B. トランザクション
- C. 内部結合
- D. インデックス

答え・解説

Q0071 正答：D. インデックス

解説：中心となる論点はインデックスである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0072

データベース

タグ：インデックス

用語：インデックスの確認ポイント9：検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造

「検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造」という特徴を持つものを選べ。

- A. インデックス
- B. トランザクション
- C. 関係モデル
- D. 内部結合

答え・解説

Q0072 正答：A. インデックス

解説：インデックスが該当する。定義は検索を高速化するためキーと格納位置を管理する構造であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0073

データベース

タグ：内部結合

用語：内部結合の確認ポイント1：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

次の説明に最も合う用語はどれか。両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

- A. ロールバック
- B. 内部結合
- C. 主キー
- D. 原子性

答え・解説

Q0073 正答：B. 内部結合

解説：内部結合は、両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0074

データベース

タグ：内部結合

用語：内部結合の確認ポイント2：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

内部結合の説明として最も適切なものはどれか。

- A. トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理
- B. 表の各行を一意に識別する属性又は属性の組
- C. 両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合
- D. トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質

答え・解説

Q0074 正答：C. 両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

解説：内部結合の要点は「両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0075

データベース

タグ：内部結合

用語：内部結合の確認ポイント3：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「内部結合」である。

- A. ロールバック：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合
- B. 主キー：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合
- C. 原子性：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合
- D. 内部結合：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

答え・解説

Q0075 正答：D. 内部結合：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

解説：正しい組合せは「内部結合：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合」。
用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0076

データベース

タグ：内部結合

用語：内部結合の確認ポイント4：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

「内部結合」は、両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0076 正答：○

解説：正しい。内部結合は両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0077

データベース

タグ：内部結合

用語：内部結合の確認ポイント5：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

組織が「両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. ロールバック
- B. 内部結合
- C. 主キー
- D. 原子性

答え・解説

Q0077 正答：B. 内部結合

解説：この目的に対応するのは内部結合である。両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合という機能・考え方を持つためである。

Q0078

データベース

タグ：内部結合

用語：内部結合の確認ポイント6：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

「内部結合」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. トランザクションが全て実行されるか全く実行されない性質
- B. 表の各行を一意に識別する属性又は属性の組
- C. 両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合
- D. トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

答え・解説

Q0078 正答：C. 両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

解説：内部結合は両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0079

データベース

タグ：内部結合

用語：内部結合の確認ポイント7：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

「内部結合」は、トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0079 正答：×

解説：誤り。記述はロールバックの説明である。内部結合は両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合。

Q0080

データベース

タグ：内部結合

用語：内部結合の確認ポイント8：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

次の状況で中心となる論点はどれか。「両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合」ことが求められている。

A. 内部結合

B. 主キー

C. 原子性

D. ロールバック

答え・解説

Q0080 正答：A. 内部結合

解説：中心となる論点は内部結合である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0081

データベース

タグ：内部結合

用語：内部結合の確認ポイント9：両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合

「両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合」という特徴を持つものを選びなさい。

- A. 原子性
- B. 内部結合
- C. 主キー
- D. ロールバック

答え・解説

Q0081 正答：B. 内部結合

解説：内部結合が該当する。定義は両方の表で結合条件を満たす行だけを返す結合であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0082

データベース

タグ：ロールバック

用語：ロールバックの確認ポイント1：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

次の説明に最も合う用語はどれか。トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

- A. 関係モデル
- B. 外部キー
- C. ロールバック
- D. 排他制御

答え・解説

Q0082 正答：C. ロールバック

解説：ロールバックは、トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0083

データベース

タグ：ロールバック

用語：ロールバックの確認ポイント2：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

ロールバックの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 表を用いてデータと関係を表現するデータモデル
- B. 別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- C. 同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- D. トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

答え・解説

Q0083 正答：D. トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

解説：ロールバックの要点は「トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0084

データベース

タグ：ロールバック

用語：ロールバックの確認ポイント3：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「ロールバック」である。

- A. ロールバック：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理
- B. 関係モデル：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理
- C. 外部キー：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理
- D. 排他制御：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

答え・解説

Q0084 正答：A. ロールバック：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

解説：正しい組合せは「ロールバック：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0085

データベース

タグ：ロールバック

用語：ロールバックの確認ポイント4：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

「ロールバック」は、トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0085 正答：○

解説：正しい。ロールバックはトランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0086

データベース

タグ：ロールバック

用語：ロールバックの確認ポイント5：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

組織が「トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. 関係モデル

B. 外部キー

C. ロールバック

D. 排他制御

答え・解説

Q0086 正答：C. ロールバック

解説：この目的に対応するのはロールバックである。トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理という機能・考え方を持つためである。

Q0087

データベース

タグ：ロールバック

用語：ロールバックの確認ポイント6：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

「ロールバック」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同時更新による矛盾を防ぐためデータへのアクセスを制御する仕組み
- B. 別の表の主キーなどを参照し表間の関係を表す属性
- C. 表を用いてデータと関係を表現するデータモデル
- D. トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

答え・解説

Q0087 正答：D. トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

解説：ロールバックはトランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0088

データベース

タグ：ロールバック

用語：ロールバックの確認ポイント7：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

「ロールバック」は、表を用いてデータと関係を表現するデータモデル。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0088 正答：×

解説：誤り。記述は関係モデルの説明である。ロールバックはトランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理。

Q0089

データベース

タグ：ロールバック

用語：ロールバックの確認ポイント8：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

次の状況で中心となる論点はどれか。「トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理」ことが求められている。

- A. 外部キー
- B. ロールバック
- C. 排他制御
- D. 関係モデル

答え・解説

Q0089 正答：B. ロールバック

解説：中心となる論点はロールバックである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0090

データベース

タグ：ロールバック

用語：ロールバックの確認ポイント9：トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理

「トランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理」という特徴を持つものを選べ。

- A. 排他制御
- B. 外部キー
- C. ロールバック
- D. 関係モデル

答え・解説

Q0090 正答：C. ロールバック

解説：ロールバックが該当する。定義はトランザクションの変更を取り消して開始前の状態へ戻す処理であり、他の候補とは機能が異なる。